

作業報 2月3日(月)

場 所 下り線 13 km 090m~160m 付近

作業内容

・統括責任者：欠 ・作業責任者：2名 ・作業員：17名

(本日から当分の間、B班は自職場に戻る)

・総突き固め

午前8時に13km050m踏切に集合・点呼実施し、総つき固め、道床補充・整理を行った。火曜日は13km190m付近からのマクラギ位置整正、通り直し等を予定



事前検測



ジャッキアップの状況



突き固めの状況



バラスト運搬の状況



作業終了後検測の状況



仮杭上端における温度約57°C

作業報 2月5日(水)

場 所 下り線 13 km 160m~230m 付近

作業内容

・統括責任者：欠 ・作業責任者：1名 ・作業員：12名

午前8時に13 km 050m踏切に集合・点呼実施し、総突き固め、通り直しを行った。今朝は、濃霧のため作業開始時間を30分遅らせた。木曜日は下り線13k260mからの継目まくらぎ位置整正、通り直しを予定。



濃霧の状況



基準杭によるこう上量設定



TTによる突き固めの状況



作業後の検測作業

作業報告

日 時 2月7日(金) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 210~290

作業内容

- ・統括責任者 : 欠
- ・作業責任者 2名
- ・作業員 : 18名
- ・総つき固め 60m、PCマクラギ交換 3本、通り直し3m他

午前8時に13k050m付近の踏切に集合・点呼実施後、朝霧のため、8:30から下り線13k220mから280m総つき固めを行った。

本日より、小尾専門家、水江専門家が赴任、若月専門家は8日列車動揺測定後帰国。

地元新聞社(美人記者2名)からの取材があった。(MRが引率、説明)



朝霧



扛上量確認



総つき固め



通り直し



検測



新聞記者2名取材

作業報告

日 時 2月10日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 280~330、下り線 11 km 450~12 km 200、上り線 11 km 450~650

作業内容

・統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 3名 ・ 作業員 : 18名
・総つき固め 70m、PCマクラギ交換 1本、通り直し 22m、分岐器箇所マーキング
午前8時に 13 km 050m 付近の踏切に集合・点呼実施後、下り線 13 km 280m から 330m 総つき固め、通り直し、分岐器箇所マーキング 900m を行った。

豆ジャッキが損傷し、使える前ジャッキが3台のみとなったが、日本からの資機材がやっと到着したため、来週からの分岐器改良(4台)には支障が無い模様。

明日は3台の豆ジャッキで、木製パッキングを多用して、50m 区間で 79 mmを扛上する。



総つき固め 49 mmを 2回で扛上



通り直し



来週改良を行う分岐器付近のマーキング



損傷した日本製豆ジャッキ

作業報告

日 時 2月11日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 330~410

作業内容

- ・ 統括責任者 : 1名 ・ 作業責任者 3名 ・ 作業員 : 13名
- ・ 総つき固め 60m、通り直し 10m

豆ジャッキが損傷したため、日本の豆ジャッキ3台とMRのジャッキ2台で、木製パッキンを多用して、60m区間で79mmを扛上した。

総括責任者のタンゾウさんが帰国し、現場復帰し、JR東日本からのOJT生4名が現場視察し、13日から作業に加わる。

12日はユニオンディーで休日であるが、日本人と事務所スタッフで11km500付近の分岐器の測量を行う。



総つき固めで79mmを扛上



レールジャッキとパッキンを多用



ビータ及スコ詰め



水準の確認

作業報告

日 時 2月12日(水) 09:00~13:30

場 所 下り線 11 km 450~11 km 650、上り線 11 km 450~650 ダゴン支線 0 km~200

作業内容

- ・本日はユニオンディーでMRの作業員はお休みで、来週の分岐器改良のため、日本人だけで測量を行った。専門家3名、通訳スタッフ3名、OJT生4名 : 10名
- ・分岐器箇所マーキング
- ・分岐器4台の軌道変位検査、材料検査、600mの測量(200m×3線)。



業務説明点呼



マーキングと計測



安全確認



マーキングと測量

作業報告

日 時 2月13日(木) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 290~13 km 360

作業内容

- ・統括責任者： 1名 ・作業責任者： 2名 ・作業員：16名
- ・継目マクラギ・マクラギ位置修正 18本
- ・マクラギ挿入 3本
- ・マクラギ交換 1本
- ・むら直し 40m

午前8時に13k50m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:30から下り線13km290mから継目マクラギの位置修正とむら直しを行った。

本日より、JR東日本OJT生2名も合わせて実習に加わった。



マクラギ位置修正



マクラギ挿入



むら直し



むら直し

作業報告

日 時 2月14日(金) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 400~13 km 460、下り線 13 km 540~14 km 500

作業内容

- ・ 統括責任者： 欠 ・ 作業責任者： 2名 ・ 作業員： 10名
- ・ マクラギ交換 1本 (13k425)
- ・ 総つき固め 13 km 400~460 ; 60m
- ・ 通り直し 9m
- ・ 測量 13 km 540~14 km 500

午前8時に13k50m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:30から下り線13km400mから日本から新しく届いた資機材を用いて、効率よく総つき固めを行った。

資機材が多くなったため、貨物列車で資機材を運搬した。



日本からの資機材



レール扛上



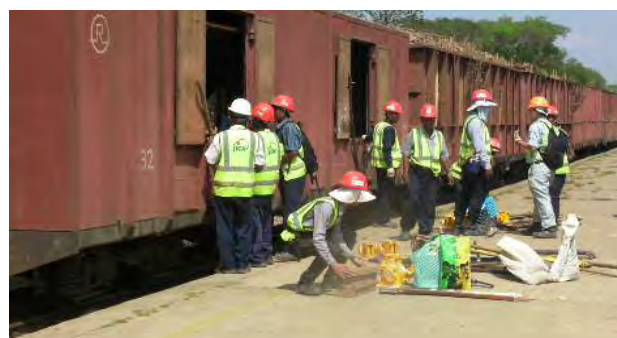
総つき固め



マクラギ交換



通り直し



貨物列車で資機材運搬

作業報告

日 時 2月17日(月) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 460~11 km 560

作業内容

- ・統括責任者： 1名 ・作業責任者： 3名 ・作業員： 23名
- ・総つき固め 11 km 450~545 ; 45A号分岐器
- ・通り直し 15m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:30から下り線11k460mの45A号分岐器から総つきを始める。昨日バラスト搬入が出来なかったため、扛上量の少ない下り線11k460の45A号分岐器から作業を開始した。

明日はこの続きで、上り線11k545m45A号、55A号の分岐器の総つきを行う。信号屋の立ち合いもあり、転てつ器の調整はお願いした。



図を使って作業説明・点呼



レール扛上量確認



総つき固め



総つき固め(後ろにパゴダ)



信号屋立ち合い(信号屋はノーヘル、サンダル)



通り直し

作業報告

日 時 2月18日(火) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 500~11 km 590

作業内容

- ・ 統括責任者： 1名 ・ 作業責任者： 3名 ・ 作業員： 21名
- ・ 総つき固め 54B 後端側 510~520m 54B 分岐側 510~520m
55A 後端側 580~590m 55A 分岐側 580~590m
- ・ 分岐マクラギ交換 54B 分岐器クロッシング部 4本
- ・ 通り直し 20m 54B 号分岐器

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:20から下り線11km500mの54B号分岐器から総つきを始める。ホキ車故障のため、バラスト補充が無く、取付け部の総つきを行った。55A号分岐器リード部上り方はサンドルを掛け、10km/hの徐行を掛けた。



点呼・作業説明



レール扛上量確認



総つき固め



分岐マクラギ交換



通り直し



列車徐行

作業報告

日 時 2月19日(水) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 580~11 km 610

作業内容

- ・統括責任者： 1名 ・作業責任者： 3名 ・作業員： 19名
- ・総つき固め 54B号分岐器、55A号分岐器 60m
- ・PCマクラギ交換 8本
- ・通り直し 25m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:20から下り線11k580mの55A号分岐器から総つきを始める。昨夜バラスト補充があったが、ダゴン大学支線に補充されていたため、バラスト運搬に苦労した。55B号分岐器リード部下り方はサンドルを掛けて本日の作業を終了した。 最大扛上量は171mmであった。



信号屋との立会



マクラギ交換



レー扛上



レール扛上



サンドル組



つき固め

作業報告

日 時 2月20日(木) 08:00~12:30

場 所 下り線 11 km 590~11 km 635

作業内容

- ・統括責任者： 1名 ・作業責任者： 3名 ・作業員： 19名
- ・総つき固め 55B号分岐器、55A号分岐器 65m
- ・通り直し 20m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、8:20から下り線11km580mの55B号分岐器から総つきを始める。昨夜バラスト補充があったが、補充状況が一樣でないため、バラスト整理に苦労した。昨日のサンドルを撤去して、本日の作業を終了した。

明日は、締結装置、トング、ヒール、リードの締結ボルトの再緊張を行う。



バラスト補充状況



バラスト整理



総つきとバラスト補充



レール扛上



通り直し



モーター一部調整

作業報告

日 時 2月21日(金) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 590~11 km 670

作業内容

- ・統括責任者：タンゾウ ・作業責任者： 3名 ・作業員：22名
- ・総つき固め 56号分岐器、通り直し10m
- ・分岐マクラギ交換 54B号マクラギ交換 7本
- ・クロッシングボルト交換 55A、55B号分岐器 6本

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、下り線11km590mの56号分岐器から線路扛上、つき固めを始める。分岐マクラギ交換、クロッシングボルト交換を行った。最後にレールベンダーのデモを行い、本日の作業を終了した。

明日は、引き継ぎ、クロッシングボルトの交換、分岐マクラギ交換、むら直しを行う。



作業説明・点呼



総つき固め



バラスト補充



総つき固め



レールベンダー説明



レールベンダー作業

作業報告

日 時 2月22日(月) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 471~11 km 510

作業内容

- ・ 統括責任者：欠 ・ 作業責任者： 2名 ・ 作業員：18名
- ・ むら直し 54A号分岐器 39m
- ・ 分岐マクラギ交換 54A号マクラギ交換 10本、PCマクラギ1本
- ・ クロッシングボルト交換 54A号分岐器 8本

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、ダゴン支線55B支線でトングレール削正実習、下り線11km471mの54A号分岐器のマクラギ交換、トングレール削正、ボルト交換、むら直しを行い、本日の作業を終了した。

明日は、54A号分岐器のむら直し、通り直しを行った後、上り線54B号分岐器のクロッシングボルトの交換、分岐マクラギ交換、むら直しを行う。



トングレール削正説明



トングレール削正



分岐マクラギ交換



つき固め



インパクトレンチで緊張



信号屋の調整 (サンダルでノーヘルメット)

作業報告

日 時 2月25日(火) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 480~11 km 670

作業内容

- ・ 統括責任者：タンゾウ ・ 作業責任者： 2名 ・ 作業員：19名
- ・ むら直し 54A号 54B号分岐器 47M(分岐側含む)
- ・ 分岐マクラギ交換 55A号マクラギ交換 1本
- ・ マクラギ位置整正 54A号P先 2本
- ・ ヒールボルト交換 54B号 8本

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、54A号分岐器から54B号分岐器にかけてむら直しを始める。また、位置整正、分岐マクラギ交換、ヒールボルト交換を行った。最後に改めて、トングレールフロー削正のレクチャーを行い、本日の作業を終了した。

明日は、引き継ぎ、55A号、54B号付帯レールのむら直しを行う。



54A号分岐器むら直し



54B号分岐器むら直し



54A号P先位置整正



55A号分岐マクラギ交換



信号屋による絶縁交換



フロー削正実習

作業報告

日 時 2月26日(火) 08:00~13:00

場 所 下り線 11 km 467m~11 km 550m

作業内容

- ・ 統括責任者：タンゾウ ・ 作業責任者： 2名 ・ 作業員：16名
- ・ むら直し (上り線) 11K467m~11K422m (踏切~54B号分岐器)
(下り線) 11K519m~11K576m (54A号分岐器~ホーム端)
- ・ 通り整正 (下り線) 11K503m~11K550m
- ・ 分岐マクラギ交換 55A号分岐マクラギ交換 4本
(クロッシング部2本・リード部1本・ポイント先端1本)
- ・ マクラギ交換 (上り線) 11K502m継ぎ目部マクラギ交換1本(支え)

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、上り線の踏切から54B号分岐器に掛けてむら直しを始める。また、55A号分岐器の分岐マクラギ交換を別れて行った。施工途中に、下り線の通過列車を確認していたMR責任者が、下り線の列車が大きく揺れることと、線路の変位が気になり、むら直しがしたいとの申告を受け、作業範囲を広げ施工し、通り整正を行って本日の作業を終了した。

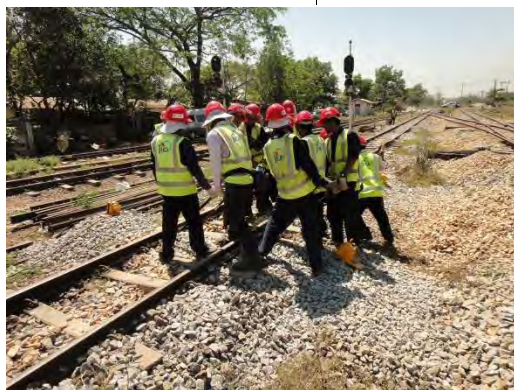
明日は、引き続き、55A号分岐器のむら直しを行う。



むら直し (踏切~54B分岐器)



継目マクラギ交換



通り整正 (下り線) 11K503m~11K550m



55A号分岐マクラギ交換

作業報告

日 時 2月27日(木) 08:00~12:00

場 所 11 km 480~11 km 670

作業内容

- ・ 統括責任者： 欠
- ・ 作業責任者： 3名
- ・ 作業員： 23名
- ・ むら直し 55A号後方付帯レール 46M
- ・ 分岐マクラギ交換 55B号マクラギ交換 3本
- ・ 水路修繕 上り線(11k500m付近)
- ・ 道床整理 下り線 54m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、55A号分岐器から後方付帯レールにかけてむら直しを始める。また、上り線の水路修繕を施工し、バラスト掻きだし及びPC桁の下部に木マクラギを敷設、不要PCマクラギを土止め壁として敷設した。

明日は、引き継ぎ、55B号、56号のむら直しを行う。



55A号分岐器むら直し



55B号分岐マクラギ交換



水路修繕(バラスト掻き出し)



水路修繕(桁下に木マクラギ敷設)



水路修繕(不要PC敷設)

作業報告

日 時 2月28日(火) 08:00~13:00

場 所 54B分岐器及び56号分岐器

作業内容

- ・統括責任者：タンゾウ ・作業責任者： 2名 ・作業員：22名
- ・むら直し 55B号分岐器～付帯レール～56号分岐器 (L=65.0m)
- ・通り整正 55B号分岐器～56号分岐器 (L=50.0m)
- ・軌間整正 56号分岐器リード部 (L=5.0m)
- ・道床補充 54A号分岐器トング部・その他

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、55B号分岐器のむら直しを始める。道床の量がまだ少ないため、道床補充を行いながらの作業となった。55A号分岐器から付帯レールを通して、56号分岐器のむら直しを行った。また、施工前検測時に、軌間狂い量が大きい箇所があったため、56号分岐器・リード部の軌間整正を行った。その後、通り整正、道床補充を行い、本日の作業を終了した。

来週(月曜日)は、同駅構内・上り線の軌道整備を行う。



むら直し及び道床補充



軌間整正



通り整正



施工後(仕上がり状態)

作業報告

日 時 3月3日(月) 08:00~13:00

場 所 11 km 480~11 km 657

作業内容

- ・ 統括責任者：欠 ・ 作業責任者： 3名 ・ 作業員：18名
- ・ むら直し 上り線 11k470m~478m、11k590m~657m L=75m
- ・ マクラギ交換 上り線 11k595m 付近 1本 11k604m 付近 1本

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、54B号分岐器後方付帯レールから踏切にかけて再度むら直しを実施し、その後上り線55A号分岐器より起点方に向かって一般区間のむら直しを行った。最後に通り整正器の取扱い説明を行い本日は終了した。

明日は、引き続き上り線一般区間のむら直しを行う。



分岐器後方付帯むら直し



むら直し



マクラギ交換



通り整正器取扱い説明



通り整正器取扱い説明

作業報告

日 時 3月6日(木) 08:00~13:00

場 所 大学線 11K654m~11K709m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人
- ・ 作業責任者：4名
- ・ 作業員：22名
- ・ むら直し (大学線) 11K654m~11K709m (L=55m)
- ・ 線路こう下 (大学線) 11K700m~11K707m (L=7m)
- ・ マクラギ交換 (大学線) 11K681m付近(2本)
- ・ マクラギ挿入 (大学線) 11K700m付近・11K707m付近(2本)

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、大学線のむら直し及び線路こう下作業を始める。その他、マクラギ不良箇所の交換を行うとともに、継目部のマクラギ間隔が広すぎたため、マクラギ挿入を行った。線路こう下作業のため道床かき出しを行ったが、道床の土砂混入率が高かったため、下り線より道床の補充を行った。

明日は、同駅構内 下り線(11K650m~) むら直しを行う。



むら直し



マクラギ挿入



線路こう下



線路こう下(施工後)

作業報告

日 時 3月7日(金) 08:00~13:00

場 所 11 km 645m~11 km 747m

作業内容

- ・ 統括責任者 : 1名 ・ 作業責任者 : 2名 ・ 作業員 : 23名
- ・ むら直し 下り線 11k645m~747m L=102m
- ・ 通り整正 下り線 11k705m~720m L=15m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k645mよりむら直しを開始した。また、むら直し終了後に通り整正を行い本日は終了した。

来週も引き続き下り線一般区間のむら直しを行う。



むら直し



むら直し



バラスト掻き込み



通り整正

作業報告

日 時 3月10日(月) 08:00~13:00

場 所 作業場所 上り線 11K720.4m~11K732.7m

測量範囲 各線 11K655.0m~12K095.0m

作業内容

- ・統括責任者：1人
- ・作業責任者：3名
- ・作業員：22名
- ・バラスト交換 (上り線) 11K720.4m~11K732.7m (排水路前後 2.3m除) (L=10m)
- ・線路縦断測量 (構内各線) 11K655.0m~12K095.0m

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、上り線のバラスト交換を始める。また、大学線に保守目標となるキロ程の印付けを行った。その後、今後施工予定となっている大学線・下り線及び上り線の線路縦断測量を行った。バラスト交換箇所は、ホーム内の排水路前後のため、施工には時間を要していた。

また、バラストは下り線から補充を行い、本日の作業を終了した。

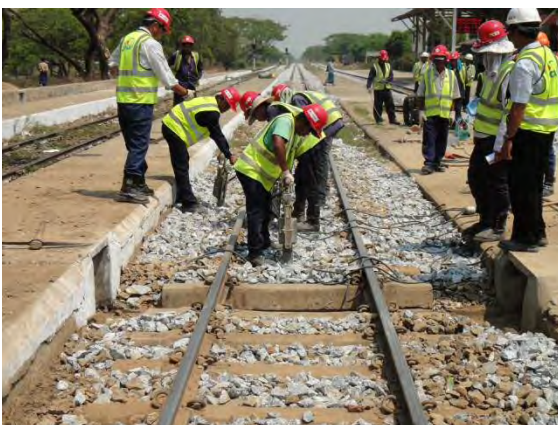
明日は、同駅構内 上り線の軌道整備を行う。



バラスト撤去(施工中)



バラスト補充(施工中)



バラスト交換後つき固め



線路縦断測量

(ヘルメットをかぶっては見えません)

作業報告

日 時 3月11日(火) 08:00~13:00

場 所 作業場所 上り線 11K715m~11K815m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：20名
- ・ むら直し
(上り線) 11K715m~11K745m (L=30m)
(上り線) 11K765m~11K785m (L=20m)
(上り線) 11K795m~11K815m (L=20m) 計 70m
- ・ 線路縦断測量
(下り線) 11K515m~11K665m (L=150m)
(上り線) 11K585m~11K665m (L=80m)
(北部方分岐器) 61A・62・63A・63B(分岐器4組)
- ・ 通り整正 (上り線) 11K715m~11K740m (L=17.7m(排水路L=2.3m除く))

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、上り線のむら直しを始める。先日測量した結果に基づき線路のこう上量を算出し、タイタンパーによりつき固めを行った。また、今後施工予定となっている下り線・上り線及び北部方分岐器の線路縦断測量を行った。むら直し施工後、通り整正を行ったのち検測を行い、本日の作業を終了した。

明日は、同駅構内にて不良マクラギの交換を行う。



むら直し



線路縦断測量



通り整正



責任者に対する施工方法説明

作業報告

日 時 3月12日(水) 08:00~14:00

場 所 11 km 460m~11 km 990m

作業内容

- ・ 統括責任者 : 1名
- ・ 作業責任者 : 4名
- ・ 作業員 : 20名
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k750m~768m 5本
下り線 11k856m~868m 11本 (計16本)
- ・ マクラギ位置整正 下り線 11k758m、11k760m 2本
- ・ レベル測量 ティラワ線 11k460m~530m L=70m
ダゴン線 11k460m~605m L=145m
貨物留置線 11k899m~990m L=91m (計306m)

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k750m付近と11k856m付近の2箇所に分かれてPCマクラギ交換を開始した。低床ホームに囲まれた区間にあるため、レベルを破線しての作業となり、作業終了まで多くの時間を要した。

明日も引き続き下り線一般区間のPCマクラギ交換を行う。



損傷マクラギ状態



バラスト掻き出し



PCマクラギ交換 (施工中)



PCマクラギ交換 (施工中)

作業報告

日 時 3月13日(木) 08:00~13:00

場 所 作業場所 上り線 11K747m~11K855m

作業内容

- ・ 統括責任者：なし
- ・ 作業責任者：3名
- ・ 作業員：18名
- ・ PCマクラギ交換 (下り線)11K747m~11K774m(5本)
(下り線)11K845m~11K855m(8本)
- ・ PCマクラギ整正 (下り線)11K747m~11K774m(1本)
(下り線)11K845m~11K855m(2本)

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、上り線のPCマクラギ交換を始める。先日引き続き低床ホーム内のPCマクラギ交換で、道床のかき出し及びレールを破線しての作業となったため時間を要した。また、PCマクラギ交換箇所付近のマクラギ間隔を直すため、マクラギ位置整正を行った。PCマクラギ交換後、検測を行い本日の作業を終了した。

昨日14:00まで作業を行ったため、熱中症に掛かる者が有り、4名欠席であった。

暑さと紫外線で日本人も調子を崩しているため、12:00前には作業を終了するよう努める。

明日も引き続き、同駅構内にてPCマクラギ交換を行う。



PCマクラギ交換(道床かき出し)



PCマクラギ交換(レール破線)



PCマクラギ交換(レール扛上)



つき固め

作業報告

日 時 3月14日(金) 08:00~12:30

場 所 11 km 460m~11 km 844m

作業内容

- ・ 統括責任者：1名
- ・ 作業責任者：3名
- ・ 作業員：25名
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k781m~779m 5本
下り線 11k832m~844m 6本(計11本)
- ・ マクラギ位置整正 下り線 11k834m 1本
- ・ レベル測量 下り線 11k460m~510m L=50m

午前8時に Toegyaungkalay 駅に集合・点呼実施後、11k781m 付近と 11k832m 付近の2箇所に分かれてPCマクラギ交換を開始した。本日も低床ホームに囲まれた区間にあるため、レール破線及びレール扛上により作業を行った。最後にランマーの取扱い説明と締め固め作業を行い終了した。

来週は、下り線 11k510m 付近より総突き固め、通り整正を行う。



バラスト掻きだし



PC マクラギ交換



突き固め



バラスト締め固め

作業報告

日 時 3月17日(月) 08:00~12:00

場 所 作業場所 下り線 11K515m~11K650m

作業内容

- ・ 統括責任者：1名 ・ 作業責任者：4名 ・ 作業員：24名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K515m~11K565m (L=50m)
- ・ PCマクラギ位置整正(下り線) 11K517.7m(1本)
(下り線) 11K518.4m(1本)
(下り線) 11K550.0m(1本)
- ・ 通り直し (下り線) 11K515m~11K552m (L=37m)
- ・ バラスト運搬整理 (下り線) 11K515m~11K540m (L=25m)

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、先週測量した結果を基に下り線の扛上量を決め、下り線南部54A号分岐器後端付近から総つき固めを始める。また、マクラギの間隔が悪い箇所については、マクラギ位置整正を行った。

総つき固め終了後、検測を行い、通り変位の大きい箇所について、通り直しを実施し、ランマーによりバラスト締め固めを行った。

その後、明日も同一箇所の総つき固めを計画しているが、砕石量が不足している箇所に対し、バラスト運搬整理を行い本日の作業を終了した。明日も引き続き、同駅構内・下り線11K515mから2回目の総つき固めを行う。



測量結果を基に扛上量の印付け



総つき固め



通り直し



バラスト締め固め

作業報告

日 時 3月18日(火) 08:00~12:30

場 所 11 km 506m~11 km 630m

作業内容

- ・統括責任者：1名 ・作業責任者：4名 ・作業員：21名
- ・線路扛上(総つき固め) 下り線 11k506m~630m 124m
- ・通り整正 下り線 11k535m~630m 40m
- ・道床整理・運搬 下り線 11k515m~550m 35m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k506m付近から総つき固めを実施した。事前に算出した扛上量をもとにレベルで確認しながら線路扛上を行った。

また、最大扛上量が40mm以上となり、碎石補充も並行して行った。通り変位の大きい箇所は通り整正および道床締固めを実施し本日は終了した。

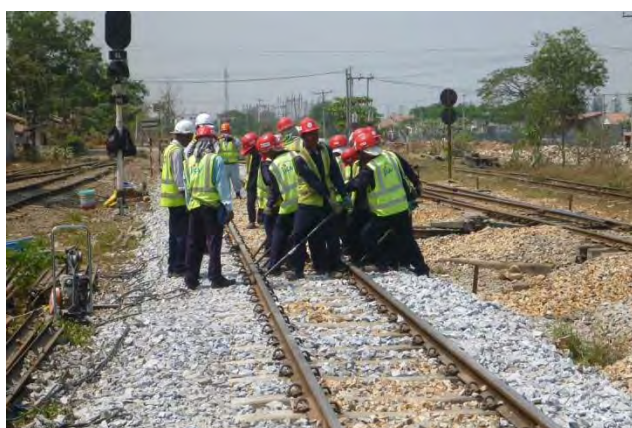
明日も引き続き、下り線11k585m付近より2回目の線路扛上を行う。



総つき固め



扛上量をレベルにて確認



通り整正



施工後の状態

作業報告

日 時 3月19日(水) 08:00~13:00

場 所 作業場所 下り線 11K585m~11K625m

作業内容

- ・ 統括責任者：1名
- ・ 作業責任者：3名
- ・ 作業員：18名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K585m~11K625m(L=40m)
- ・ PCマクラギ交換 (下り線) 11K615m(1本) (下り線) 11K619m(1本)
(下り線) 11K622m(1本) (下り線) 11K626m(1本)
(下り線) 11K628m(1本) 計5本
- ・ 通り整正 (下り線) 11K590m~11K602m(L=12m)
(下り線) 11K618m~11K628m(L=10m)
- ・ バラスト運搬整理 (下り線) 11K595m~11K620m(L=25m)

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、測量した結果を基に下り線の扛上量を決め、総つき固めを始める。また、不良PCマクラギ交換も同時に行った。総つき固め施工後、扛上量が大きく、砕石不足のため、バラスト運搬整理を行った。仕上がり検測を行い、通り変位の大きい箇所について、通り整正を実施しランマーによりバラスト締め固めを行った。

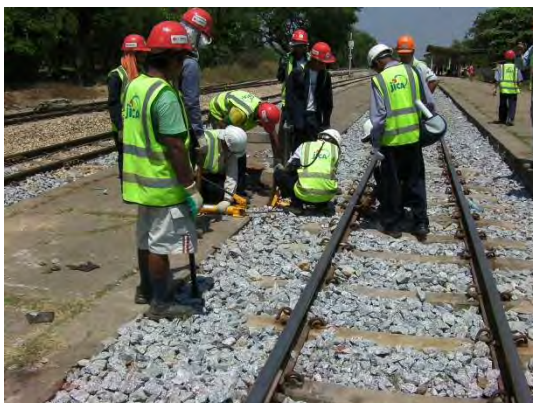
明日は、同駅構内・下り線11K620mから総つき固めを行う。



レール扛上



スイカを食べて一休み



ジャッキで通り整正



バラスト締め固め

作業報告

日 時 3月20日(木) 08:00~11:30

場 所 11 km 590m~11 km 641m

作業内容

- ・ 統括責任者 : 1名 ・ 作業責任者 : 4名 ・ 作業員 : 20名
- ・ むら直し 下り線 11k627m~641m 14m
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k632m、634m、636m、638m 4本
- ・ PCマクラギ位置修正 下り線 11k637m 1本
- ・ 道床運搬・整理 下り線 11k590m~620m 30m

午前8時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k590m付近から昨日までの線路扛上区間に道床運搬・補充を行った。また、線路扛上予定区間内にある不良PCマクラギ交換を実施した。ホーム内はバラスト量が比較的少ないため、バゴ一方ホーム端付近より運搬したため時間を要した。最後にむら直し、締固めを行い本日は終了した。

明日は、下り線 11k620m 付近より 2 回目の総つき固めを行う。



道床運搬・補充



PCマクラギ交換



ギャング前に積まれた大量の
新品木マクラギ



レール温度計
【上:ミャンマー(中国製) 下:日本】

作業報告

日 時 3月21日(金) 08:00~12:00

場 所 作業場所 下り線 11K506m~11K675m

作業内容

- ・ 統括責任者：なし
- ・ 作業責任者：3名
- ・ 作業員：19名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K625m~11K695m (L=70m)
- ・ 道床運搬整理 (下り線) 11K506m~11K515m (L=9m)
(下り線) 11K630m~11K645m (L=15m)
- ・ 通り整正 (下り線) 11K645m~11K675m (L=30m)

午前8時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、測量した結果を基に下り線の扛上量を決め、総つき固めを始める。通り変位が繰り返し発生している箇所が道床肩幅不足のため、道床運搬整理を行った。また、総つき固めの施工位置(ホーム内)の道床の量も少ない箇所に対し道床運搬整理を行った。施工終了後、仕上がり検測を行い、通り変位の大きい箇所について、通り整正を実施しランマーにより道床締め固めを行った。

来週(月曜日)は、同駅構内・下り線11K695mから総つき固めを行う。



総つき固め



総つき固めのレクチャー



通り整正



深沢副社長現場視察

作業報告

日 時 3月24日(月) 07:00~11:30

場 所 11 km 695m~11 km 775m

作業内容

- ・ 統括責任者 : 1名
- ・ 作業責任者 : 4名
- ・ 作業員 : 16名
- ・ 総つき固め 下り線 11k695m~765m 70m
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k764m 1本
- ・ PCマク位置修正 下り線 11k765m 1本
- ・ 道床整理 下り線 11k695m~775m 80m

本日より1時間ほど作業時間を繰り上げ、午前7時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k695m付近から1回目の総つき固めを開始した。また、線路扛上区間内にある不良PCマクラギの交換とマクラギ位置修正も併せて実施した。検測による軌道状態確認後、むら直し及び道床締固めを行い、本日の作業を終了した。

明日は、下り線11k803mからのPCマクラギ交換8本及び11k780~790mの道床交換を行う予定。



施工前の軌道検測



総つき固め



C班の班長による扛上量確認



パッキンによる不陸調整(排水溝)

作業報告

日 時 3月25日(火) 07:00~11:30

場 所 作業場所 下り線 11K780m~11K840m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：4名 ・ 作業員：22名
- ・ 道床交換 (下り線) 11K780m~11K790m(L= 6m)
- ・ PCマクラギ交換 (下り線) 11K800m~11K840m(計=8本)
- ・ PCマクラギ位置整正(下り線) 11K800m~11K840m(計=4本)

午前7時に駅構内下り線ホームに集合・点呼実施後、道床交換(C班・D班)、PCマクラギ交換(A班・B班)に分かれて作業を始める。道床交換箇所は、道床バラストが固結状態となっており、道床の撤去に時間を要したため予定した数量まで出来なかった。

また、本日新たに手ふるいを持っていき、道床交換で発生した道床バラストのふるい分けを行った。PCマクラギ交換は予定した数量のほか、交換箇所付近のマクラギ間隔の整正も行った。施工後、仕上がり検測を行い、ランマーによる道床締め固めを行い終了した。

明日は、同駅構内・下り線 11K695m から総つき固め(2回目)を行う。



道床ふるい分け



道床交換(道床撤去状況)



PCマクラギ交換



道床締め固め

作業報告

日 時 3月26日(水) 07:00~12:00

場 所 11k695m~11k815m

作業内容

- ・ 統括責任者： 欠
- ・ 作業責任者： 3名
- ・ 作業員： 18名
- ・ 総つき固め 下り線 11k695m~815m 120m
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k785m 付近 2本
- ・ バラスト交換 下り線 11k783m~787m 4m

午前7時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k695m付近から2回目の総つき固めを行った。また、昨日に引き続き、11k783m付近のバラスト交換・PCマクラギ交換も併せて行った。最後に通り整正・道床締固めを行い本日は終了した。昨晚、駅構内全線にわたり道床取卸しが行われた。28日以降の分岐器扛上の際、バラスト運搬の労力が軽減されると考えられる。

28日は、下り線11k815mからの総つき固め及び61A号分岐器の材料交換を行う。



道床取卸し後の状態



バラスト交換（固結部の掘削）



交換箇所へのバラスト投入



総つき固め

作業報告

日 時 3月28日(金) 07:00~11:20

場 所 作業場所 Togyauungale 駅構内下り線 11K815m~11K890m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：19名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K815m~11K870m(L= 55m)
- ・ PCマクラギ交換 (下り線) 11K873m (計=1本)
- ・ PCマクラギ位置整正(下り線) 11K788m~11K789m(計=2本)
- ・ 分岐マクラギ交換 (下り線) 61A号分岐器 (計=7本)

午前7時に駅北部構内下り線ホームに集合・点呼実施後、総つき固め(A班・B班)、PCマクラギ交換及び分岐マクラギ交換(C班・D班)に分かれて作業を始める。

総つき固めは、測量した結果を基にレベルによる扛上量の確認を行いながら行った。マクラギ交換箇所では、マクラギの配置間隔の不良箇所があったため、マクラギ位置整正も行った。施工後、ランマーによる道床締め固め、仕上がり検測、通り変位の大きい箇所について通り整正を行い終了した。

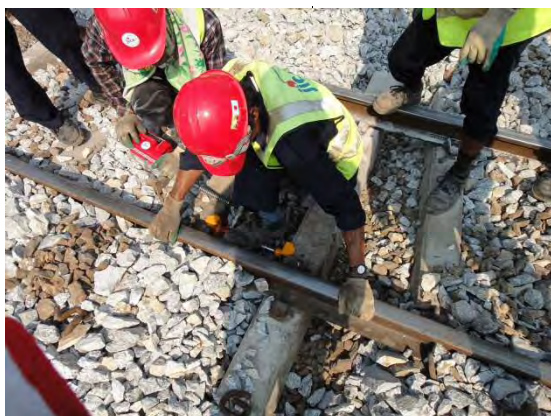
来週(月曜日)は、同駅構内・下り線61A号分岐器の分岐マクラギ交換及び分岐器後端からのPCマクラギ交換を行う。



レベルによる扛上量確認



総つき固め



PCマクラギ位置整正



分岐マクラギ交換

作業報告

日 時 3月31日(月) 07:00~12:00

場 所 11k880m~11k910m

作業内容

- ・統括責任者：1名
- ・作業責任者：4名
- ・作業員：20名
- ・分岐マクラギ交換 下り線 61A号分岐器 10本
- ・PCマクラギ交換 下り線 11k903m~910m 5本
- ・並マクラギ挿入 留置線 分岐器後端付帯レール 2本

午前7時に Toegyaungkalay 駅に集合・点呼実施後、A・B班はPCマクラギ交換及び留置線のマクラギ挿入、C・D班は61A号分岐器の分岐マクラギ交換、ボルト緊解機を使いチョックボルト交換を行った。マクラギ交換後、交換箇所につき固めと仕上り検測を行い本日は終了した。

また、ダゴン大学線にてMR職員でレール交換が行われていた。レール切断機のトラブルにより、多くの時間を要していた。

明日は、下り線11k865mからの61A号分岐器の1回目の分岐器扛上を行う。



ボルト交換後、緊解機にて緊締



分岐マクラギ交換



つき固め



MRによるレール交換作業

作業報告

日 時 4月1日(火) 07:00~11:40

場 所 作業場所 Togyauungale 駅構内 下り線 11K860m~11K910m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：17名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K860m~11K910m(61A号分岐器含む)
- ・ 分岐器通り整正 (下り線) 61A号 (計=1組)
- ・ PCマクラギ交換 (材料線) 11K902m (計=1本)
- ・ 木マクラギ交換 (材料線) 11K900m (計=1本)
- ・ PCマクラギ位置整正(下り線) 11K880m~11K881m(計=2本)

午前7時に駅構内下り線ホームに集合・点呼実施後、レベルによる扛上量の確認を行いながら総つき固めを始める。分岐器内は、扛上量が多かったため、道床を補充しながらの作業となった。また、分岐器後端から材料線にかけてのマクラギの不良があり、軌間保持のため、マクラギ交換を行った。分岐器内の通り整正を行った後、ランマーによる道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

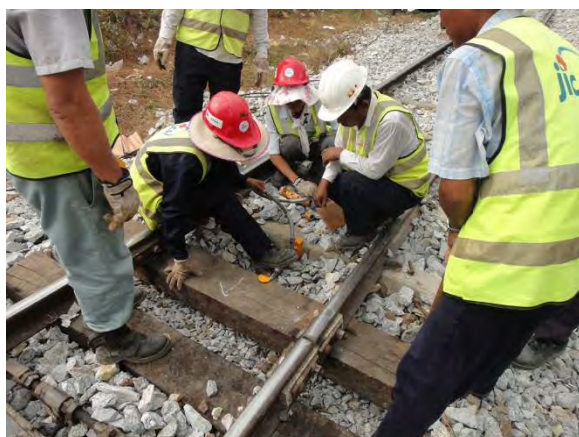
明日は、同駅構内・下り線 61A号分岐器の総つき固め(2回目)を行う。



レベルによる扛上量確認



総つき固め(61A号分岐器)



マクラギ位置整正



分岐器通り整正

作業報告

日 時 4月2日(水) 07:00~12:00

場 所 11k880m~11k940m

作業内容

- ・ 統括責任者：1名
- ・ 作業責任者：3名
- ・ 作業員：18名
- ・ 総つき固め 下り線 11k900m~940m 40m
- ・ 分岐器むら直し 下り線 P61A号 ポイント部 リード部
- ・ 分岐器軌間直し 下り線 P61A号 クロッシング部
- ・ 通り直し 下り線 11k905m~940m 35m
- ・ PCマクラギ位置修正 下り線 1本

午前7時に Togyauungale 駅に集合・点呼実施後、61A号分岐器のむら直し及び分岐後端からバゴーフ方向に向け総つき固めを実施した。分岐器内にて軌間縮小箇所でのフロー削正・軌間直しを実施した。最後に通り直し・道床締固めの後、軌道検測をして、本日の作業を終了した。

明日も引き続き、下り線 11k940m から総つき固めを行う。



分岐器前端のむら直し



分岐後端の総つき固め



クロッシング部のフロー削正



通り直し

作業報告

日 時 4月3日(木) 07:00~11:30

場 所 作業場所 Togyauungale 駅構内 下り線 11K960m~12K010m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：19名
- ・ 総つき固め (下り線) 11K940m~12K010m(計=70m)
- ・ 通り整正 (下り線) 11K950m~11K980m(計=30m)
- ・ PCマクラギ挿入 (材料線) 11K937m (計=1本)
- ・ 木マクラギ挿入 (材料線) 11K939m (計=1本)
- ・ PCマクラギ位置整正(下り線) 11K934m~11K969m(計=8本)

午前7時に駅構内下り線ホームに集合・点呼実施後、レベルによる扛上量の確認を行いながら総つき固めを始める。軌間内の砕石量が少ない為、線路左右からの掻き込みを行いながらの作業となった。また、材料線の軌間の拡大箇所に対し、軌間保持のためマクラギの挿入を行った。仕上がり検測後、通り変位の大きい箇所の整正を行い、ランマーによる道床締め固めを行い終了した。

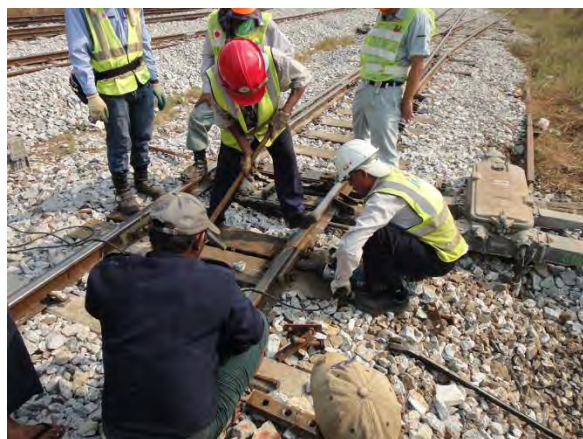
明日は、同駅構内・下り線 総つき固め(11K865m~)及びマクラギ位置整正を行う。



道床掻き込み



マクラギ位置整正



信号立会による絶縁継ぎ目交換



通り整正

作業報告

日 時 4月4日(金) 07:00~11:30

場 所 11k880m~12k022m

作業内容

・統括責任者：1名 ・作業責任者：2名 ・作業員：17名

・むら直し	下り線	11k880m~11k976m	96m
・マクラギ位置修正	下り線	11k981m~12k022m	13本
・通り修正	下り線	11k885m~11k985m	100m
・バラスト整理	下り線	11k900m~11k976m	76m

午前7時に Togyauungale 駅に集合・点呼実施後、61A号分岐器を含めた最終のむら直し及びPCマクラギ位置修正を実施した。扛上量の大きい11k940m付近で若干の高むらが残っていたため、施工延長を伸ばしてむら直しを行った。最後に通り修正・バラスト整理・道床締固めの後、軌道検測をして本日は終了した。

来週は、上り線11k460m(踏切端部)からバゴー方に向かって総つき固めを行う。



むら直し



PCマクラギ位置修正



施工前



施工後

作業報告

日 時 4月7日(月) 07:00~11:40

場 所 Togyangale 駅構内 上り線 11K460m~11K525m

作業内容

- ・統括責任者：1人 ・作業責任者：3名 ・作業員：18名
- ・マクラギ交換 (上り線) 11K460m~11K514m(計=13本) (木マクラギ→PCマクラギ)
- ・木マクラギ挿入 (上り線) 11K525m (計=1本)
- ・道床交換 (上り線) 11K462m~11K466m(計=4m)

午前7時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、駅構内上り線のマクラギ交換(木マクラギ→PCマクラギ)を始める。また、踏切アバット部の土砂混入率が高い為、道床交換作業も行った。その後、軌間内の砕石量が少ない箇所については、線路左右からの掻き込みを行なった。マクラギ交換及び道床交換終了後、つき固めと道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

明日は、同駅構内上り線 総つき固め(11K460m~600m)を行う。



道床交換



つき固め



マクラギ交換



道床締め固め

作業報告

日 時 4月8日(火) 07:00~11:30

場 所 11k462m~11k558m

作業内容

・統括責任者：1名 ・作業責任者： 3名 ・作業員：22名

・総つき固め	下り線	11k462m~558m(分岐器、亘り線含)	96m
・通り整正	下り線	11k510m~545m	35m
・バラスト整理	下り線	11k462m~558m	96m

午前7時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k462mより総つき固めを実施した。また今回は、昨日のレベル測量、扛上量算出及び扛上量確認に至るまで、ミャンマー人スタッフが中心となって行った。分岐器後端付近に高むらが残ってしまったが、クロッシング部を扛上する際の注意事項を話し、明日むら直しを実施することとした。最後に通り整正・バラスト整理・道床締固めの後、軌道検測をして本日は終了した。

明日は、上り線11k550m付近よりバゴ一方に向かって総つき固めを行う。



レベルにて扛上量確認



総つき固め



レベル確認で総つき固め



施工後検測

作業報告

日 時 4月9日(水) 07:00~11:10

場 所 トウジヤガラ-駅構内上り線 11K520m~11K655m

作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：17名
- ・ 総つき固め (上り線) 11K565m~11K655m(計= 90m) ※55A号分岐器含
- ・ 分岐マクラギ交換 (上り線) 54B号分岐器前端 (計=2本)
- ・ むら直し (上り線) 11K520m~11K530m(計= 10m)
- ・ 道床整理 (上り線) 11K565m~11K655m(計= 90m)

午前7時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、昨日高むらとなっていた54B号分岐器後端部のむら直し及び同分岐器先端部のマクラギ不良箇所の交換を開始した。その後、55A号分岐器より総つき固めを行った。施工は、軌間内の碎石量が少ない箇所については、線路左右からの掻き込みながらの作業となった。むら直し、マクラギ交換及び総つき固め施工後、道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

明日も引き続き、同駅構内上り線 55A号分岐器より、線路扛上(総つき固め(2回目))を行う。



むら直し



分岐マクラギ交換



総つき固め



道床締め固め

作業報告

日 時 4月10日(木) 07:00~11:00

場 所 トウジャガレ駅構内上り線 11K550m~11K665m

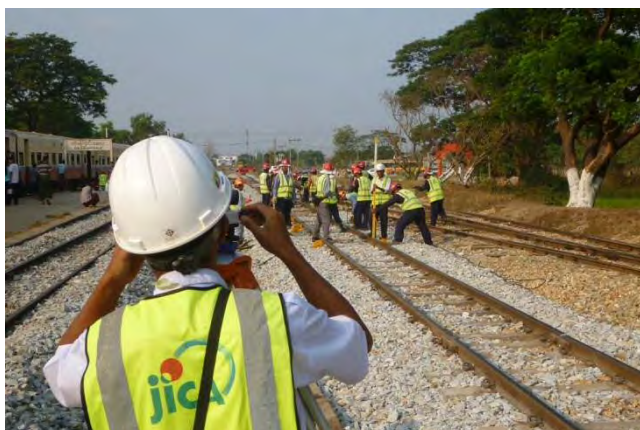
作業内容

・統括責任者：1名 ・作業責任者：3名 ・作業員：18名

・総つき固め	下り線	11k581m~665m(取付け10m含む)	84m
・むら直し	下り線	11k550m(54B号分岐器前端継目)	2m
・通り整正	下り線	11k630m~655m	25m

午前7時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、11k585mより2回目の総つき固めを実施した。分岐器後端(11k581m)より50mは同等の高さで設定しており、扛上量は最大で30mm程度となり、バラスト補充を並行して行った。

最後に通り整正・バラスト整理・道床締固めの後、軌道検測をして本日は終了した。明日も引き続き、上り線11k655m付近よりバゴ一方に向かって総つき固めを行う。



レベルにて扛上量確認



総つき固め



継ぎ目板ナット・ワッシャー交換



施工後の軌道状態

作業報告

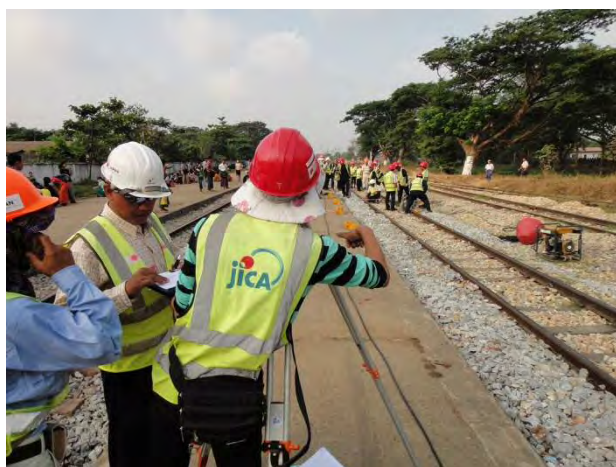
日 時 4月11日(金) 07:00~11:40

作業場所 Togyaunggale 駅構内 上り線 11K665m~11K830m

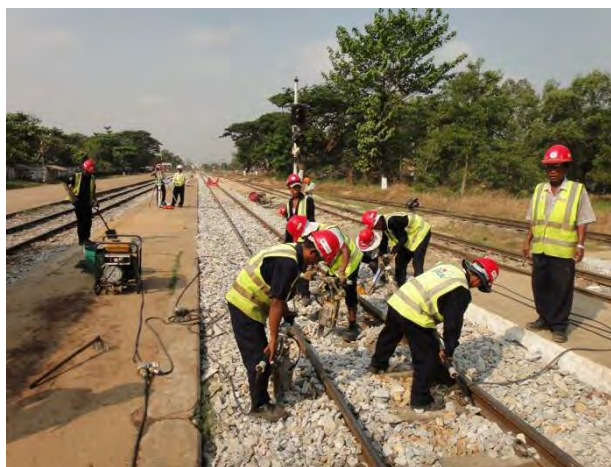
作業内容

- ・ 統括責任者：1人 ・ 作業責任者：3名 ・ 作業員：17名
- ・ 総つき固め (上り線) 11K665m~11K815m(計=150m) 取付け 10m 含
- ・ 通り整理 (上り線) 11K695m~11K760m(計= 65m)
- ・ 継目ボルト・ナット交換 (上り線) 11K720m~11K830m

午前7時に11k450m付近の踏切付近に集合・点呼実施後、昨日の取り付けした箇所から総つき固めを行った。施工箇所での、碎石かき込みが多くなかったため、施工延長が伸びた。総つき固め施工後、通り整正及び道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。明日(12日)から21日まで、旧正月のため休日となる。22日から引き続き、総つき固めを行う予定。



現地スタッフによる扛上量確認



総つき固め



看板前での総つき固め



終礼点呼の様子

作業報告

日 時 4月22日(火) 07:00~11:00

場 所 上り線 11k790m~11k890m

作業内容

・作業責任者： 2名 ・作業員：18名

- | | | | |
|----------|-----|--------------------------|-----|
| ・総つき固め | 上り線 | 11k790m~855m(取付け 10m 含む) | 65m |
| ・道床補充 | 上り線 | 11k820m~890m | 70m |
| ・道床締固め | 上り線 | 11k790m~855m | 65m |
| ・マクラギ交換 | 上り線 | 11k833m | 1本 |
| ・継目ボルト交換 | 上り線 | 11k833~890m | |

午前7時に11k450m付近の踏切に集合・点呼実施後、前回(上り11k790m)の続きから総つき固めを実施した。また、軌間内のバラストが不足していたためバラスト補充と不良マクラギ交換を併せて行った。最後にバラスト整理・道床締固めの後、軌道検測をして本日は終了した。

明日も引き続き、上り線11k855m付近よりバゴ一方に向かって総つき固めを行う。



施工前



施工後



バラスト補充と継目ボルト交換



総つき固め

作業報告

日 時 4月23日(水) 07:00~11:30

場 所 Togyanggale 駅構内 上り線 11K845m~11K948m

作業内容

- ・ 作業責任者：2名 ・ 作業員：16名
- ・ 総つき固め (上り線) 11K845m~11K940m(計=95m) 取付含
- ・ PCマクラギ位置整正(上り線) 11K925m(計=1本)
- ・ 継目板交換 (上り線) 11K925m(軌間内・1枚)
- ・ 締結装置整備 (上り線) 11K900m~11K948m(継目ボルト補修)

午前7時に Togyanggale 駅構内、下りホームに集合・点呼実施後、昨日の取り付けした箇所から総つき固めを行った。計画した扛上量をレベルにより確認しながらジャッキアップを行った。途中、施工箇所内の継目板1枚に亀裂を見つけたため、継目板の交換を行った。総つき固め施工後、道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

明日も引き続き、上り線の総つき固めを行う。



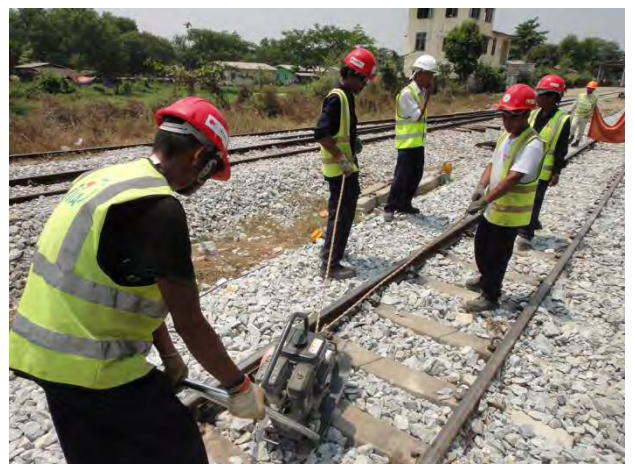
レベルによる扛上量確認



総つき固め



継目板交換



道床締め固め

作業報告

日 時 4月24日(木) 07:00~11:10

場 所 Togyauoggale 駅構内 上り線 11k855m~11k990m

作業内容

・ 作業責任者 : 2名 ・ 作業員 : 11名

・ 総つき固め	上り線	11k855m~940m(取付け 10m 含む)	85m
・ 通り整正	上り線	11k850m~935m	85m
・ 道床締固め	上り線	11k855m~940m	85m
・ チョックボルト交換	上り線	P63A	5本

11k855mより2回目の総つき固めを実施し、次週総つき固め施工予定の63A号分岐器のチョックボルト交換及び増し締めも行った。

線路扛上は計画通りの扛上量で実施し、道床整理について再度講習を行ったため、施工後の見栄えも向上した。

明日は、上り線 P63A 号の材料交換（木マクラギ・チョックボルト等）を行う。



総つき固め



現地スタッフによる縦曲線の説明



施工前の状態



施工後の状態

作業報告

日 時 4月25日(金) 07:00~11:40

場 所 Togyanggale 駅構内 上り線 11K845m~11K940m

作業内容

・ 作業責任者：1名 ・ 作業員：16名

- ・ 分岐マクラギ交換 (上り線) 63A号分岐器(リード部=8本・クロッシング部=1本)
- ・ 締結装置整備 (上り線) 63A号分岐器(チョックボルト交換=11本・その他補修)

上り線 63A号分岐器の分岐マクラギ交換を行うとともに、分岐器チョックボルトの交換及び補修、また、5月第2週からの作業予定となっている同駅構内 ティラワ線のレベルによる縦断測量を行った。

分岐マクラギ交換終了後、つき固め及び道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

来週月曜日は、残り分岐マクラギ交換、63A分岐器の扛上(第1回目)を行う予定。



レベルによる縦断測量



分岐マクラギ交換後の穿孔とイヌクギ打ち



分岐ボルト交換



道床締め固め

作業報告

日 時 4月28日(月) 07:00~11:10

場 所 Togyanggale 駅構内 上り線 11k959m~12k000m

作業内容

・作業責任者： 1名 ・作業員：17名

- ・PCマクラギそう入 上り線 11k959m、11k964m 2本
- ・マクラギ位置整正 上り線 11k960m~966m 4本
- ・分岐マクラギ交換 上り線 P63A 6本
- ・分岐チョックボルトの補修・交換 6本

上り線の63A号分岐器にて先週に引き続き分岐マクラギ交換、チョックボルトの交換を行った。また、明日以降線路扛上を行う区間において、PCマクラギそう入及び位置整正、道床整理、締固めを行い、本日の作業を終了した。

明日は、上り線63A号分岐器の1回目扛上(総つき固め)を行う。

来週以降施工予定のティラワ線にて先週末に道床取り卸しが行われていた。



分岐マクラギ交換(施工中)



分岐マクラギ交換(施工中)



分岐マクラギ交換(施工後)



ティラワ線の道床取卸し状況

作業報告

日 時 4月29日(火) 07:00~11:30

場 所 Togyanggale 駅構内 上り線 11K950m~12K000m

作業内容

・ 作業責任者：1名 ・ 作業員：14名

- ・ 総つき固め (上り線) 11K955m~12K000m+亘り線 8m L=53m
(63A号分岐器(L=18.7m)含む)
- ・ 分岐器総つき固め (上り線) 63A号分岐器 計=1組(8.5番)
- ・ 道床締め固め (上り線) 11K955m~12K000m(63A号分岐器含む)

午前7時に Togyanggale 駅構内、下りホームに集合・点呼実施後、総つき固め作業に取り掛かった。上り線 63(A)号分岐器の扛上量が多かったため、道床の掻き込み作業を合わせて行った。また、レールフローの大きかった箇所についてフロー削正を行った。総つき固め後に道床締め固めを行い、仕上がり検測をして終了した。

明日は、引き続き同分岐器 63A号分岐器扛上(総つき固め・2回目)を行う。



レベルによる線路扛上



分岐器総つき固め



レールフロー削正



道床締め固め

作業報告

日 時 4月30日(水) 07:00~13:00

場 所 Togyanggale 駅構内 上り線 11k935m~12k010m

作業内容

・作業責任者： 2名 ・作業員：12名

- ・総つき固め(線路扛上) 上り線 11k935m~12k010m (63A号分岐器含む) 75m
- ・道床補充 上り線 11k960m~12k000m 40m
- ・通り整正 上り線 11k975m~11k995m 20m

上り線 63A号分岐器にて2回目の総つき固めを行った。本日の扛上量は最大85mmとなり軌間内の道床不足が著しく、道床補充を併せて行った。施工延長が長く扛上量も多いため、大幅に時間を要したものの通り整正、締固め、最後に軌道検測を行い本日は終了した。

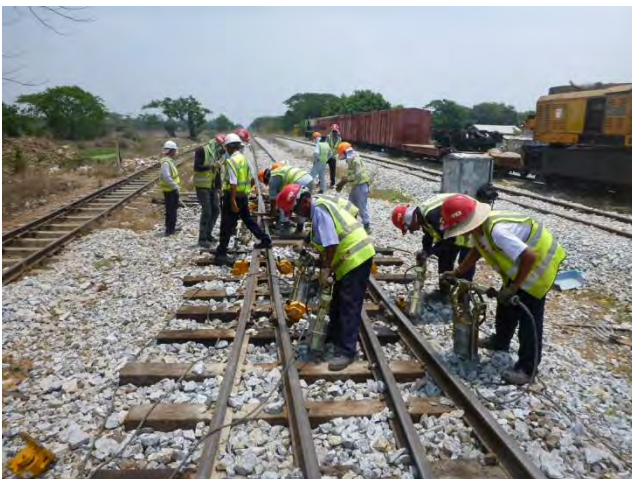
明日は休日のため、明後日は63A号分岐器のむら直しを行う。



レベルによる線路扛上



総つき固め



総つき固め(分岐器)



道床締固め